

◎キサラタン点眼液 0.005% [外]

【重要度】 【一般製剤名】 ラタノプロスト (U) *latanoprost* 【分類】 プロスタグランジンF2 α 誘導体緑内障・高眼圧症治療剤

【単位】 ◎2.5mL/本 [50 μ g/mL]

【用法】 1回1滴, 1日1回点眼 [頻回投与により眼圧下降作用が减弱する可能性があるため1日1回を超えて投与しない]

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 PGF2 α 誘導体で、ぶどう膜鉗膜流出経路から房水流出を促進することにより眼圧下降作用を示す。1日1回の点眼で、眼圧を良好にコントロールする。

【主な副作用・毒性】 虹彩色素沈着, 結膜充血, 結膜炎, 眼脂, 角膜上皮障害, 眼刺激症状, 掻痒感, 眼痛, 眼瞼炎, 霧視, 前房細胞析出, 眼瞼浮腫, 接触性皮炎, 虹彩炎, ぶどう膜炎など

【吸収】 眼局所に点眼したラタノプロストは、薬理活性本体である PhXA85 (ラタノプロスト遊離酸) に加水分解され、一部は角膜を通過し眼内に移行する。その他は、結膜、鼻粘膜及び消化管から吸収され全身循環系に入ると考えられる (1)

【tmax】 5分, 代謝物 5hr (1)

【代謝】 イソプロピルエステルのプロドラッグであり、角膜上皮に存在するエステラーゼにより PhXA85 (ラタノプロスト酸) に代謝され、その後 β 酸化、グルクロン酸抱合 (1)

【排泄】 代謝物は主に尿中に排泄され、88~98%が回収される (U) 尿中回収率 86% (1)

【t1/2】 活性体のラタノプロスト遊離酸として 17分 (1)

【蛋白結合率】 53~87% (1)

【Vd】 0.16 \pm 0.02L/kg (U) ラタノプロスト酸は点眼後 4hr は房水に、1hr は血中に検出される (U)

【MW】 432.60

【透析性】 ある程度は透析されると思われる (5) 資料なし (1)

【O/W 係数】 LogP=4.3[1-オクタノール水系, pH: 7.4] (1)

【備考】 使用前にお冷蔵保存。開封後は光を避けて室温保存可能 [1~30 $^{\circ}$ C] で 4 週以内に使用 (1) 1 滴はおよそ 32 μ L で、1 本 2.5mL に過剰充填されており 1 本で 45 回点眼できる。

【更新日】 20161109

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。